

「デジタル義歯用人工歯を使用したデジタルデンチャー」

講師 佐野 和也、中村 嘉宏

近年、全部床義歯の分野においてもデジタル技術の導入が進み、作業効率と再現性の向上が求められている。

本研修では、デジタル義歯用人工歯（バイオニックビーゴ、VITA 社の）を使用したデジタルデンチャー製作の流れを中心に解説する。

従来のアナログ工程と比較しながら、設計段階での咬合、形態情報の取り扱い、樹脂性能の物性、そしてデジタルワークフロー特有の留意点について臨床例を交えて紹介する。

また、義歯の適合精度や咬合再現性を高めるためのデジタル上での工夫、歯科技工士が担うべき判断領域についても考察する。

デジタル義歯用人工歯の高い審美性と機械的強度を生かしたデジタルデンチャーの可能性を共有し、今後のデジタルデンチャー技工の方向性を参加者とともに探る機会としたい。

【講師紹介】

佐野 和也

株式会社サヤカ デンタル事業部 技工部長

〈所属学会・スタディグループ〉

JPDA (Japan Plate Denture Association)

日本顎咬合学会

日本歯科技工学会

日本歯科理工学会

〈主な経歴〉

2012 年 日本顎咬合学会にて研究発表

2013 年 JPDA 学術講演会 登壇

2014 年 白水貿易デンチャーインストラクター

2015 年 日本歯科技工学会関東支部学術大会登壇

2016 年 JPDA 指導技工士

2018 年 埼玉歯科技工士専門学校非常勤講師

中村 嘉宏

FAITHDENTALATELIER

〈所属学会・スタディグループ〉

JPDA

日本学校咬合学会